

### 第6章 1. 西ヨーロッパ世界の形成 e, 分裂するフランク王国(2)

東フランク(ドイツ)では、大諸侯の力が強く、その選挙によって国王が選出されるようになっていった。10世紀になると、ザクセン朝の[34 **オットー1世**]が東方から進出した[1 **マジャール**]人を撃退し、北イタリアにも進出、教皇からローマ皇帝の地位を獲得、西ヨーロッパで最も権威のある世俗領主となった。これが[2 **神聖ローマ**]帝国の起源であり、ドイツ王はこれ以後[3 **神聖ローマ皇帝**]とよばれるようになる。以後、ドイツに皇帝はいたが、歴代の皇帝が[4 **イタリア**]政策に没頭し、国内政治をおろそかにしたため、大諸侯の力が強く、国内は不統一になりがちであった。

- 1) 東フランク(ドイツ)… 10世紀以後大諸侯の割拠、大諸侯による国王選出  
 → 10世紀中期 [5 **オットー1世**] (ザクセン朝)、[6 **マジャール**] 人・スラブ人の侵入を破る  
 ローマ皇帝の冠をつける=[7 **神聖ローマ**] 帝国成立  
 ↓  
 皇帝…[8 **イタリア**] 進出をめざす=ドイツ国内の不統一を招く

**神聖ローマ帝国**…中世以来、19世紀初頭までの[9 **ドイツ**]の呼び名。962年の[10 **オットー1世**]の戴冠がはじまり、皇帝は[11 **西ローマ**]帝国の伝統を引きつぎ、西ヨーロッパ世界の世俗社会の頂点に立った。このため歴代の皇帝は[12 **イタリア**]政策に没頭しドイツ国内の統一はすすまなかった。1806年の[13 **ナポレオン**]戦争の中で崩壊した。

- 2) 西フランク(フランス)… 10世紀以降、パリ伯ユーグ=カペー、[14 **カペー**] 朝を開く  
 →パリ周辺を支配するのみで弱小  
 3) イタリア… 15 **王権は完全に消滅。分裂状態に** →混乱続く  
 ・[16 **ローマ教皇**] 庁の存在 (=ヨーロッパの中心)、諸侯や[17 **都市**] の分立  
 ・ドイツなど諸外国の介入

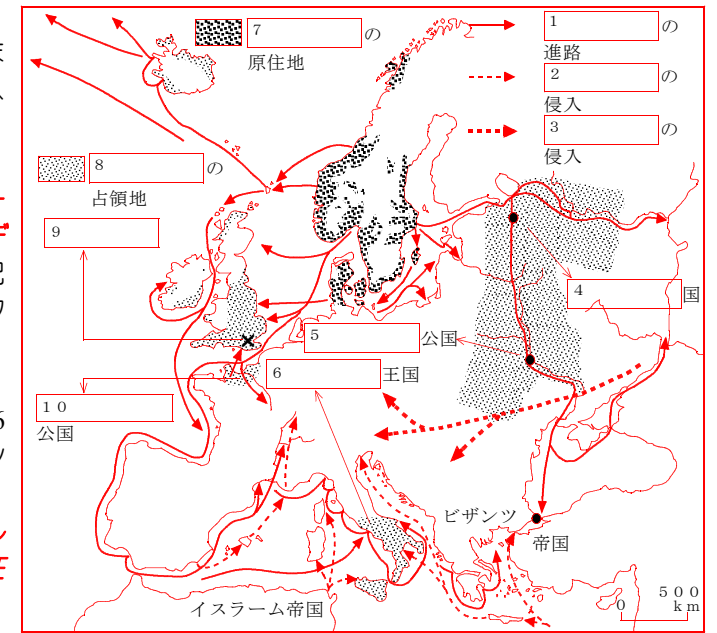
#### f. 外敵の侵入と西ヨーロッパの混乱

- ① 8～10世紀、西ヨーロッパへの異民族の侵入続く ([18 **ヨーロッパの収縮**])
- ・東方から[19 **スラブ**] 人、アジア系の[20 **マジャール**] 人・[21 **アヴァール**] 人
  - ・地中海方面から[22 **イスラーム**] 教徒→[23 **スペイン**] を支配、南イタリアや南フランスへ
  - ・スカンジナビア方面から[24 **ノルマン**] 人(北ゲルマン人)
- ② [25 **ノルマン**] 人(デン人・ノール人・スウェーア人)=スカンジナビアのゲルマン人  
 ([26 **ヴァイキング**]) →海上交易をおこなう。ときには海賊、略奪も→西ヨーロッパへ侵入、移住
- ③ 北フランス…ロロが[27 **ノルマンディ**] 公国を樹立(10世紀初)  
 →12世紀前半、南イタリア・シチリア島に[28 **両シチリア**] 王国樹立→イスラームとたたかう
- ④ イングランド  
 ゲルマンの大移動→[29 **アングロサクソン**] の七王国成立→9世紀前半[30 **エグバード**] が統一

↓  
 以後ノルマンの侵入続く→9世紀末 [31 **アルフレッド**] 大王、ノルマンの侵入を一時、撃退

↓  
 11世紀初頭、デン人王子[32 **クヌート**] の侵入=イングランド占領、[33 **デンマーク**] [34 **ノルウェー**] をも支配する海上王国を建設。→アングロ=サクソンの一時復活

↓  
 [35 **ノルマンディ公ウィリアム**]、1066年のヘースチングスの戦いの結果、イングランドを征服  
 ウィリアム1世として即位=[36 **ノルマン**] 朝を建てる([37 **ノルマンの征服**])



9世紀のヨーロッパ

#### — イングランドの歴史

ブリタニア(イギリス)が歴史上現れるのは、前1世紀ガリア地方を平定した[38 **カエサル**] がこの地に上陸、南部を[39 **ローマ**] 帝国に組み入れて以後である。

[40 **4**] 世紀、ゲルマンの大移動がはじまると、ブリタニア南東部のイングランドにはドイツ北部から[41 **アングロサクソン**] 族が移動、[42 **七王国**] (ヘプターキー) を建国、9世紀前半[43 **エグバード**] が統一をすすめた。なお、圧迫されたケルト民族は西部の[44 **ウェールズ**] や北部の[45 **スコットランド**] に追いやられた。

スカンジナビア地方のゲルマン人である[46 **ノルマン**] 人は9世紀ごろから海上へ進出、交易をおこなうとともに各地で海賊や略奪をくりかえしながら、西ヨーロッパへ侵入、移住をしていった。北海をはさんでスカンジナビアと向かい合うイングランドは彼らの格好の目標となった。彼らの侵入は9世紀頃から本格化、9世紀末[47 **アルフレッド**] 大王がいったん撃退したが、侵入はつづき、1016年、イングランドはデン人の王[48 **クヌート**] によって征服され、デンマーク・ノルウェーを含む海上帝国の一部に組み込まれた。その後、アングロサクソンの王家が復活したが、北フランスにあった[49 **ノルマンディー**] 公国の侵入を受け、1066年[50 **ノルマンディー公ウィリアム**] がヘースチングスの戦いでアングロ=サクソン王国を破り、イングランド征服し[51 **ノルマン**] 朝を建てた。これを[52 **ノルマンの征服**] という。この結果、ヨーロッパの他の国々に比較してイングランド王の力は[53 **強力**] となった。

- ⑤ ロシア ([54 **ルーシ**] と呼ばれる)  
 → [55 **リュリク**] がノヴゴロド国・[56 **キエフ**] 公国樹建国(9世紀)  
 のちスラブ化し、ロシアの基礎をつくる  
 ノルマン人の一派→[57 **アイスランド**] やグリーンランド、[58 **北アメリカ**] へも到達
- ⑥ 北欧…[59 **デンマーク**] [60 **ノルウェー**] [61 **スウェーデン**] の諸王国の成立  
 → この地域への[62 **キリスト**] 教の広がり=北欧の西ヨーロッパ化=ノルマンの移動終了